

研究主題

自己表現力の伸長を目指した言語活動の充実

～生徒が主体的に学習できる活動を通して成功体験へ～

1. 研究主題

「自己表現力の伸長を目指した言語活動の充実～生徒が主体的に学習できる活動を通して成功体験～」

2. 学校および生徒の実態

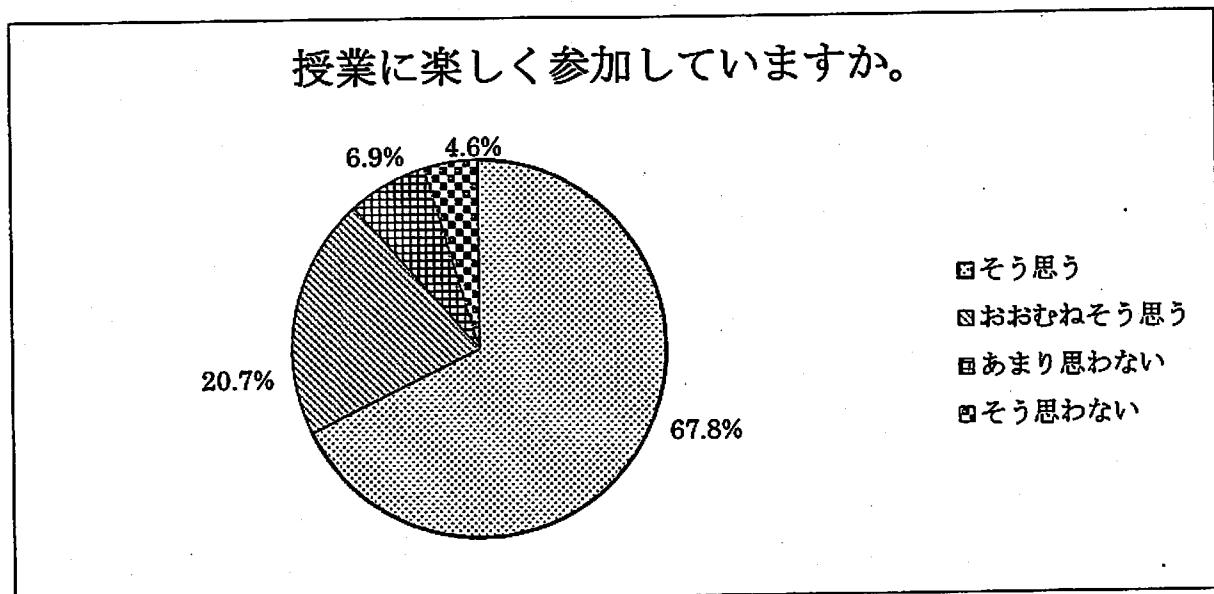
本校は四街道駅の東側に位置し、本学区は南北に7km、東西に4kmという四街道市の3分の1を占める広い地域である。また、そのほとんどが田園地帯と里山であり、緑に囲まれた自然豊かな地域で、近くには総合公園などがある。千葉市と隣接する鷹の台・吉岡地区の生徒はバスおよび自転車で通学している。

今年度は1・2年生4クラス、3年生3クラス、特別支援学級が3クラスあり、全校生徒342名の中規模校である。生徒は旭小学校、山梨小学校、みそら小学校、吉岡小学校の4校から集まっている、学校数も多いことから小学校、中学校では授業研修会や研究協議を通して、小小連携や小中連携に力を入れている。

市内の小学校では、民間企業の株式会社エデューレコミュニケーションズと連携してメトロラーニング（メトロノームのリズムに合わせた学習）を昨年度から行っており、この活動により、「聞くこと」と「話すこと」の活動がより明確に指導されていると感じる。それを受けた中学校でも活動時にメトロラーニングを取り入れ、小学校の学習と連動させ「中1ギャップ」の軽減に努めている。また、級友とのやりとりの中で共感したものや、自分との差違に気づき、いろいろな思考に触れることで、自身の考えを豊かにするための指導を行っているところである。

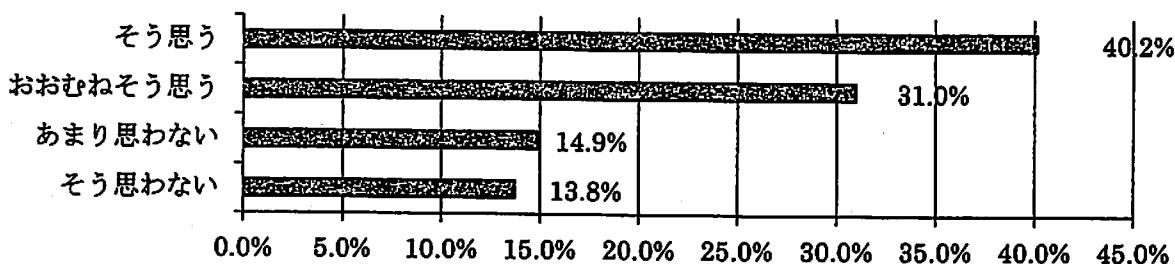
以下は授業内で行った平成28年度第2学年にとったアンケート結果である。

平成28年7月7日（131名）実施

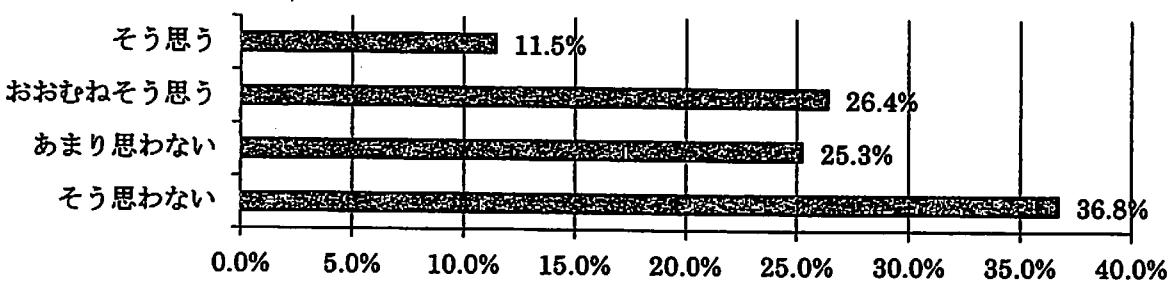


上記のアンケート結果からわかるように、「そう思う」、「おおむねそう思う」の生徒を合わせると約88%の生徒が英語の授業に楽しく参加できている。言語活動においても積極的に取り組み、級友との意見交換を意欲的に行うことができている。

英語は好きですか。



英語は得意ですか。



しかし、上記のアンケート結果からわかるように、英語自体は好きだが、英語の学習に関しては苦手意識を持っている生徒が多く、発表や書くことになると英語に対する自信のなさからか消極的になってしまう傾向がある。

3. 主題設定の理由

本校英語科の研究主題は「自己表現力の伸長を目指した言語活動の充実～生徒が主体的に学習できる活動を通して成功体験～」である。

現行の学習指導要領では教科の目標として「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」とあるが、2021年完全移行の新学習指導要領の外国語の教科目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」と変更された。また、新学習指導要領の各言語の目標及び内容等ではこれまでの「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能4領域から「話すこと」が「話すこと〔やりとり〕」と「話すこと〔発表〕」に分けられ、4技能5領域の目標として明記されることとなった。

本校生徒の実態として英語を不得意と感じる生徒が多い。その理由としては、「相手の話していることが聞き取れない」、「活動の時にうまく発表ができない」などの理由がある。新学習指導要領および生徒の実態を踏まえて、単純に繰り返し学習をするのではなく、生徒に自信をもたせるために言語活動の充実を図る必要があると考えた。どういった場面でその表現が使えるのかを明示して生徒によりわかりやすい場面を設定する。さらに、活用できる表現を場面に合わせて段階的に増やす

ことで活用表現の幅が広がる。このようにして、生徒が自信をもって活動に取り組めると、英語に対する成功体験が増え、自己表現力の向上につながると考えたため、本主題を設定した。

4. 研究仮説

- 仮説（1） 言語活動の場面設定を工夫すれば、相手が話している内容を注意深く聴いて理解しようと努めるだろう。
- 仮説（2） 自分の気持ちや考えを表現する言語活動の回数を増やせば、英語で対話をすることへの抵抗感がなくなり、間違いを恐れず自信をもって英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が育まれるだろう。
- 仮説（3） 言語活動の中で、やりとりや発表の仕方を工夫しながら指導すれば、培ってきた表現力を基に、発言者・発表者は聞き手が理解しやすいように発言・発表ができるようになるだろう。

5. 研究の内容と実践

昨今、小学校での外国語活動が注力されるようになり、それぞれの学区で児童の実態に応じた指導がなされ、そのレベルは年々上がってきている。中学校に入学する新入生は、すでに英語を聞くこと、英語で話すことにはほとんど抵抗はない。その流れを大切にするために、毎時間生徒による言語活動が中心となるように授業を組み立てている。この毎時間の言語活動の積み重ねが、生徒の自己表現力の礎になるだろう。

それぞれの学年の実態を踏まえながら、主に下記の活動に取り組んでいる。また、小中学校の研究授業を積極的に参観し、研究協議を経て日々新しい教授法にも挑戦し続けている。

（ア）全学年共通

| 活動名 | 頻度・時間 | 学習形態 | 内容 |
|------------------------------------|---------------|-------|--------------------------------------------|
| Daily Conversation | 毎時間・2分以内 | ペア | 日常会話の練習【資料1】 |
| Music Dictation | 毎時間・4分以内 | 個人・ペア | 洋楽を書き取り、歌う【資料2】 |
| Free Talk | 毎時間・3分以内 | ペア | テーマを決めて即興で自由に会話をする。 |
| Quick Reading | 毎時間・2分以内 | 個人 | 40~80語程度の英文を速読し、Q&Aに答える。【資料3】 |
| Speech | 学期末 30秒~1分 | 個人 | テーマを決めてスピーチを行う。スピーチ終了後、スピーチの内容を英語で書く。【資料4】 |
| 1 on 1 Speaking <ALT - Student> | 学期末 1分~1分半 | 個人 | ALTと生徒<1対1>が即興で会話をする。【資料5】 |

(イ) 1学年

- Regular Interview 【資料6】
インタビューワークシートを活用し、お互いが必要としている情報を伝え合う活動。毎回パートナーを替えて質問したり答えたりする。インタビュー終了後は、その内容をライティングでまとめる。
- Battle Ship 【資料7】
ペアを作り、相手が決めたキーワード・キーセンテンスを全て言い当てるまで、英語の質問や回答を続けるゲーム。繰り返し行うことで確実な基礎基本の定着を狙う。
- Word Chain Game
小グループに分かれてしりとりの要領で行う。テーマや文字数を制限することで冠詞、名詞、動詞と既習の単語確認に用いる。
- LINE game
質問者の問い合わせに手を上げて答える。答えた人は縦列か横列かを選びその列は座る。質問も解答も生徒が行うと聞くこと、話すことのドリル学習につながる。

(ウ) 2学年

- Regular Interview
1学年の活動と同じ。
- Picture Description
写真描写による英問英答。表現力を英単語レベルから英文レベルへ引き上げることが目的。必要に応じてJTEがリキャストする。
- Skit Presentation / Role Playing
教科書の本文を活用し暗唱発表を行う。または、教科書の本文の内容を作りかえて暗唱発表を行う。
- TIC – TAC – TOE 【資料8】
3×3の格子を用意し、ペアで交互に「○」と「×」を書き込んでいき3つ並べる。バトルシップと同様に、英語の質問や回答を続ける活動で、繰り返し行うことで確実な基礎基本の定着を狙う。

(エ) 3学年

- Project Interview 【資料9】
ペアで行う記者会見。片方は記者役を担い、もう片方はスポーツ選手や芸能人などの役を担う。実際の記者会見のような設定で発表を行う。
- Poster Making to CM
(例) テーマを学校紹介とし、グループでポスターを作成する。作成したポスターを見せながらCMを撮り、授業で紹介する。
- Debate 【資料10】
グループに分かれ、それぞれのテーマでディベートの準備を行う。ディベート発表後、聴

衆（聞き手）からの質疑を経て、勝者を決定する。

（テーマ例）Should computers replace teachers? / School Uniforms or Casual Clothes?

● Information Gap 【資料1 1】

ペアを作り、お互い必要としている情報が全て満たされるまで英問英答を繰り返す活動。

ワークシートを埋めて、その内容をライティングでまとめる。

6. 研究の成果と課題

（ア）仮説（1）について

様々な言語活動の実践から、自分自身が英語で自分の意見や考えを伝えることはもちろん、相手が英語で伝えようとしている内容について理解しようという意欲的な姿勢が多く見られるようになった。【One Way Communication → Two Way Communication】発表者がスピーチを行っている際は、その内容を注意しながら聴き、必要に応じて日本語または英語でメモをとるようになった。さらに、発表後に質疑応答を設けるようにし、質問・疑問や感想を述べる習慣がついてきた。

（イ）仮説（2）について

生徒が多くの言語活動を経験することで、授業の中で多少難しい英文法・英語表現であっても、英語で伝えようと努力するようになった。また、以前と比べて英語で対話・会話をする時の表情が豊かになり、ジェスチャーも多くなった。

現在、本校3年生の*1 on 1 Speaking Test (ALT・Student) の結果を例に挙げると、1年生後半で14.6点（20点満点）、2年生半ばで15.7点、2年生後半で16.3点、3年生前半で16.4点と、約2年間を通して話す力が伸び続けていることが確認できた。

*1 on 1 Speaking Test・・・評価 Communication 10 / Pronunciation 5 / Grammar 5 で構成

（ウ）仮説（2）（3）について

仮説（1）（2）の成果でもあった通り、普段の授業から数多くの言語活動を繰り返すことにより、生徒は英語を聞いたり話したりすることにほとんど抵抗はなく、どのようにしたら聞き手に上手に伝えられるかを考えられるようになってきた。間違いを恐れる必要がない授業環境のおかげもあってか、様々な自己表現方法が見られるようになり、生徒も教師も授業が楽しいと思える瞬間が増えたように感じている。自分自身が英語で話している内容を正しく理解してもらうために、言語（英語・Verbal）の部分だけでなく、非言語（Non-Verbal）な部分が大切であることも、これまでの言語活動から生徒は習得することができた。

（エ）課題

授業が50分間という限られた時間の中で、言語活動の時間を大切にしてきたことによる成果をこれまで挙げてきたが、一方でいくつか課題が見えてきたものを下記に示す。

- リーディングの活動時間を十分に確保できず、読解力の面でそれほど大きな成果が得られていない。短時間で効果的に効率良く進められるリーディング活動を実践したい。
- 授業の最後に「まとめ」としてライティングの時間を設けている。しかし上記のリーディングと同じように、十分な時間の確保ができていない。その結果、生徒の「書く」ことへの抵抗感が残り、ライティング活動を行うにあたっては進みがとても良くない。短時間で効果的に効率良く進められるライティング活動を実践したい。
- 生徒は聞くことおよび話すことにはほとんど抵抗がないことは事実だが、ある程度決まったものや容易に予想されるものを前提に英会話が進められているものが多く、まだまだ即興力には課題がある。外国へ行けばどのような場面で、どのようなテーマで英会話がなされるかわからない。その即興の場面に強い言語使用者を目指して、生徒に指導を続けていきたい。

研究主題

自己表現力の伸長を目指した言語活動の充実

～生徒が主体的に学習できる活動を通して成功体験へ～

資料編

★2年 Daily Conversation ⑦★

資料1

(2- No. Name)

| | A | B |
|----|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | (Hi / Hello). How are you doing ? I'm _____. | I'm _____. How about you ? |
| 2 | How's the weather today ? | It's _____. |
| 3 | What's the date today ? | It's _____. |
| 4 | What day is it today ? | It's _____. |
| 5 | What time is it now ? | It's _____. |
| 6 | What do you do on Sundays ? | I _____. |
| 7 | What did you do <u>last night</u> ? | I _____. |
| 8 | What are you going to do <u>this weekend</u> ? | I'm going to _____. |
| 9 | Which do you like better, <u>ramen</u> or <u>sushi</u> ? | I like <u>ramen</u> better than <u>sushi</u> . |
| 10 | What <u>season</u> do you like the best and why? | I like <u>summer</u> the best because I <u>like swimming</u> . |
| | Thank you. Your signature please. | OK. (サイン後 →) Here you are. |

★ 英語を話すときのポイント ★

- ① Clear Voice … はっきりと聞こえる声で
- ③ Delivery … 笑顔、動き、スピード、表情

- ② Eye Contact … 相手の目をしっかりと見て
- ④ Pay Attention … 発音、イントネーション



Music Dictation

"The Nights" sung by Avicii

- Group A**
- Once upon a younger year,
昔、子供の頃
When all our shadows disappeared,
陽が暮れて暗くなり、自分達の影が消えてしまったとき
The animals inside came out to play.
動物化した自分が身体から飛び出してきて暴れ出した
Went face to face with all our fears,
抱いてる怖れから逃げずに向かい
Learned our lessons through the tears,
流した涙から多くのことを学んだ
Made memories we knew would (1 n □□□□) fade.
そしてその思い出は決して消えることなく、残るのさ
- Group B**
- One day my father—he told me, "(2 □□□), don't let it slip away."
ある日、父が僕に言ったのさ、「息子よ、人生を無駄に過ごすなよ。」
He took me in his arms, I heard him say,
僕を抱きしめて、そう言ったんだ
- Group C**
- "When you get older, your wild heart will live for younger days.
大人になると、子供時代が無性に懐かしくなることがあるんだ
Think of me if ever you're afraid."
不安になった時は、お父さんのことを思い出しなさい
- Group D**
(Chorus)
- He said, "One day you'll leave this world behind.
父はこう言ってた、いつかはこの世を去る時が来る
So, live a life you will (3 r □□□□□□□)."
だから生きて良かったと思えるような人生を送れ、と
My father told me when I was just a child,
父は、幼かった僕にこんな事を言ってくれたんだ
"These are the nights that (1 n □□□□) die." My father told me.
あの夜のことは忘れる事はない。父が僕に教えてくれたこと。
- Group E**
- "When thunder clouds start pouring down
雷雲が広がり、大雨が降っても
Light a fire they can't put out,
この炎は消えることはない
Carve your name into those shining stars."
光り輝く星に、己の名前を刻め
He said, "Go venture far beyond the shores.
父は言ったよ、思い切って岸よりはるか遠くまで行ってみろ、と
Don't forsake this life of yours.
人生をあきらめるな
I'll guide you home no matter (4 w □□□□) you are."
お前がどこにいようと、父さんがここへ連れ戻してやるから
- Group F**
- One day my father—he told me, "(2 □□□), don't let it slip away."
ある日、父が僕に言ったのさ、「息子よ、人生を無駄に過ごすなよ。」
When I was just a kid I heard him say,
僕が幼い時、父がそう言うのを聞いた

☆☆☆ Repeat Group C → D ☆☆☆

Quick Reading 1 「School」

資料3

I go to school with Shiori. The school is near our house, so we walk. They don't have school buses here. We *carry our books to school every day. My bag is really *heavy, but I can't *leave my books in my locker.(43語)

*carry ~を持って行く *heavy 重い *leave ~を置いて行く

【問題】次の質問に対する答えにあたる部分を英文中からさがして下線を引きなさい。
わたしは何が重いと言っていますか？

Quick Reading 2 「一番好きな教科」

Jane: What subject do you like, Takeshi?

Takeshi: I like music and science.

Jane: How about English?

Takeshi: Oh, I like it very much. But I like music the best.

Jane: Me too. Music is one of my favorite subjects.

I like singing songs too.(45語)

【問題】What subject does Takeshi like the best?

Quick Reading 3 「図書館の利用方法」

Our school library opens at 9:00 in the morning and close at 5:00 in the evening. There are many books in the library. We can keep two books at home for one week. The library has two rooms, and we can use both of them. In the larger room, there are many different books. For example, we can find books about other countries. In the smaller room, we can find three computers. When we want to look for some books, we can use them.(84語)

【問題】

① How long can the students keep books at home?

② What can the students find in the smaller room?

ONE WORLD ① Project 2

~ Introducing someone to the class! ~

2学期の集大成：『人物紹介』

CAN-DO (目標): 自分が好きな人やキャラクターの魅力を、聞いている人に伝えられるように、言い方や内容・構成を考えてスピーチすることができる。

【決まりと約束事】

- ①原稿は基本的に作らない。個人的に作っても良いが、提出する必要はない。
原稿を作成しても、その原稿をスピーチの時に見ることはできない。
- ②マッピングを見ながら発表しても良い。(=全て暗記する必要はない)
ただし、ずっとマッピングを見て発表することはできない。
- ③制限時間はない。ただし、あいさつ、導入、結びなどのセリフの他に、紹介する人物についての情報を6つ以上発表しなければならない。
- ④写真や絵・小道具など、スピーチの理解の助けになる道具を1つ以上準備すること。
- ⑤見せる資料やポスターなどに日本語を使用してはならない。

【発表中の評価ポイント】

- ①発表者がどれだけその人に魅力を感じているのかが聞き手に伝わる。(情熱・想い)
- ②聞いている人が理解しやすいように工夫すること。
※明るく元気な発表、声の大きさ、アイコンタクト(目線)、絵や写真などの小道具、ジェスチャー、表情
- ③内容のまとめを意識する。
- ④やさしい英語を使う。

【発表後の評価ポイント】

- ①聞き手は発表者の評価を行う。(自己評価)
- ②聞き取った内容についてメモを取り、質問や感想を発表する。

【昨年の発表内容例】

エネルギー、カーリー、市松こひな、カラ松、ポッキー、愛犬、はじめしゃちょー、ふなっしー、ヒカキンヒューズ、カプカン、ロナウジーニョ、君島達己、一松、出川哲朗、トトロ、クラスメイト、錦戸亮ミニオンズ、ガッショベル、Lady GaGa、キド、エレン、キヨ、シンデレラ、カピバラ、くまみき殺せんせー、大倉忠義、古賀紗理奈、孔明、長友佑都、BIGBANG、柳田悠岐、ナイアルラ、スponジボブ神木隆之介、ダースベーダー、水谷隼、黒田博樹、山田哲人、孫悟空、ディノバルド、ネイマールハリー・ポッター、マホト、アリアナ・グランデ、ナウシカ、志村新八、西野カナ、海未ちゃん、アヤノアン・シャーリー、デイジー、本田とおる、TED、鏡音レン

My Project 2

マッピングを作ろう！

① Name

Gary Oldman

English actor

from London

⑥ 私の思い

"LEON" { story ... X
Gary ... }

Super great
amazing actor

♥ LOVE ♥

② 個人情報

March 21st

57 years old.

(1 年 組 番)

(氏名)

③ family

妹 sister (actress)
ライラ・モース

3 sons

love

Favorite
actor



⑤ その1位

ハリウッド

Many actors ソスペクト

尊敬

ブラッドピット said,
"God"

☆ のところ絵を見せる!
(picture).

We can see him in

④ 作品

"Harry Potter"

"Batman"

* Harry Potter
で本を見せる!

3/24 まい

My Project 2:

資料4

~ Self-Evaluation ~

1年 ■ 組 ■ 番 氏名 [REDACTED]

◆ 自分のスピーチを振り返ろう

► 1~4で自己評価しよう☆

| | よくできた | できなかった |
|---------------------------------------|---------|--------|
| ① Loud and Clear Voice (はっきりと大きな声) | 4 (3) | 2 1 |
| ② Eye Contact (目線) | 4 3 | 2 1 |
| ③ Smile (笑顔) | 4 3 | 2 1 |
| ④ Natural Gesture (自然なジェスチャー) | 4 3 (2) | 1 |
| ⑤ Speed and Pace (スピードとペース) | 4 3 (2) | 1 |
| ⑥ Expression (表現・表情) | 4 (3) | 2 1 |
| ⑦ Pronunciation (発音) | 4 (3) | 2 1 |
| ⑧ Intonation (イントネーション) | 4 (3) | 2 1 |
| ⑨ Reaction (聞く側のリアクション) | 4 (3) | 2 1 |

◆ クラスマイトのスピーチを振り返ろう

► ベストスピーカーを3人選ぼう☆

| |
|------------|
| [REDACTED] |
| [REDACTED] |
| [REDACTED] |

◆ 初めてのスピーチの感想と2年生のスピーチに向けての目標を書こう (日本語)

| |
|-----------------------------------|
| 緊張して間かあいてしまったけれど、(多く)笑顔で楽しめた |
| のが良かったです。また、自行なりのDVDを見せる、歌うなどの工夫が |
| すごく良かったと思います。2年生では、原稿を暗記するのではなく、 |

自分の気持ちをそのまま英語で伝えられるようになります。

My Project 2

Writing

MY FAVORITE PERSON

(1- No. Name)

Hello! I'd like to talk about my favorite person.

My favorite person is Gary Oldman.

He is an English actor. He's from London.

His birthday is March 21st and he's 57 years old.

He has one sister, Laila Morse. She is an actress.

He has three sons and loves them so much.

I like "Harry Potter". Do you like it?

We can see him in "Harry Potter" and "Batman".

Many Hollywood actors like and respect him.

Brad Pitt says, "Gary Oldman is a God."

Do you know the movie "LEON"?

I don't like the story, but his performance is great!

Gary Oldman is a super great amazing actor!!

I love him!

Thank you for listening. (18 sentences)

Worksheet 2

Sunshine 2 My Project 5 / Page 74 - 77

What's your dream / hobby?

~将来の夢や趣味を語ろう~



★☆★Lesson's Goal★☆★

~選んだテーマについてスピーチをすることができる!~



GOAL 4: Translate Japanese into English.

出来上がった日本語原稿を英語に翻訳しよう!



Title(題名): My dream.

My dream is to study abroad. When I was ten years old, I had interested in a foreign world. I listened a story of my father stayed in America and I liked the American mood. I want to study abroad to use English work. I am studying English a lot with my family now. for future



GOAL 5: Revise the draft of your speech.

出来上がった英語スピーチ原稿の下書きを修正しよう!



Title: My dream

My dream is to study abroad. When I was ten years old, I became interested in the foreign world. I listened to a story of my father staying in America and I liked the sound of American mood. I want to study abroad to use English for future work. I am studying English a lot with my family now.



GOAL 6: Complete the draft of your speech.

英語スピーチ原稿を完成させよう! ☆清算☆



Title: My dream

My dream is to study abroad. When I was ten years old, I became interested in the foreign world. I listened to a story of my father living in America and I liked the sound of America. I want to study abroad to use English my for future work. I'm studying English a lot with my family now. Thank you for listening!



GOAL 7: Practice reading your speech.

スピーチの読む練習をしよう!



★練習した回数分だけ塗りつぶそう!(スピーチは30秒以上、60秒以下でまとめる。)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

My Project 5 ~ Evaluation Sheet ~

資料4

* 自分自身の発表の目標を書きましょう！

- ・ ジュスチャーを大きくする。
 - ・ 声を大きく!! はっきりと発音する。

*他の発表者の良かったと思う項目に○を付けましょう！(複数回答可)

* Self-Evaluation <自分自身の発表を振り返ろう！>

少し焦りましたが、早くなってしまった。でも前回よりはゆっくり話せました。ジェスチャーや声の大きさも今回は上手くいきました。

Interview

1-ON-1

Name _____

(first name)

(last name)

Number _____

資料5

COMMUNICATION

| | |
|----|-------------------|
| 10 | Excellent |
| 8 | Very good |
| 6 | Average/Good |
| 4 | Weak |
| 2 | Needs improvement |

PRONUNCIATION

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

GRAMMAR

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

20

(comments)

Interview

1-ON-1

Name _____

(first name)

(last name)

Number _____

Class _____

COMMUNICATION

| | |
|----|-------------------|
| 10 | Excellent |
| 8 | Very good |
| 6 | Average/Good |
| 4 | Weak |
| 2 | Needs improvement |

PRONUNCIATION

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

GRAMMAR

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

20

(comments)

Interview

1-ON-1

Name _____

(first name)

(last name)

Number _____

Class _____

COMMUNICATION

| | |
|----|-------------------|
| 10 | Excellent |
| 8 | Very good |
| 6 | Average/Good |
| 4 | Weak |
| 2 | Needs improvement |

PRONUNCIATION

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

GRAMMAR

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

20

(comments)

Interview

1-ON-1

Name _____

(first name)

(last name)

Number _____

Class _____

COMMUNICATION

| | |
|----|-------------------|
| 10 | Excellent |
| 8 | Very good |
| 6 | Average/Good |
| 4 | Weak |
| 2 | Needs improvement |

PRONUNCIATION

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

GRAMMAR

| | |
|---|-------------------|
| 5 | Excellent |
| 4 | Very good |
| 3 | Average/Good |
| 2 | Weak |
| 1 | Needs improvement |

20

(comments)

Worksheet

ONE WORLD | Lesson 5 / Part 1 / Page 62-63

中華街に行こう**☆☆☆CAN-DO☆☆☆**

目標：自分と他人の日常生活について話すことができる

**Activity 1: Listen ↗(Page 63)**

リスニング：ここで「聞く力」を磨きます！



◆ 英語を聞いて、Mary(メアリー)の日課の時刻を書こう！

①(:)

②(:)

③(:)

④(:)

**Activity 2: Communicate & Speak ↗**

スピーキング：ここで「対話力」を磨きます！



◆ クラスマイトの日常生活についてインタビューしよう！

What time do you ~?**A****B**

What time do you get up?

I get up at five thirty.

What time do you leave home?

I leave home at six thirty.

What time do you come home?

I come home at six.

What time do you take a bath?

I take a bath at eight.

What time do you go to bed?

I go to bed at ten.

◆ インタビューの結果を下の表に記入しよう！

| | | get up | leave home | come home | take a bath | go to bed |
|---|------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|
| ① | (例) Yosuke | five thirty | six thirty | six | eight | ten |
| ② | | | | | | |
| ③ | | | | | | |
| ④ | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | |

◆ インタビューの結果を英語で書こう！

①

Yosuke comes home at six. He goes to bed at ten.

②

③

④

⑤

⑥

③

Activity 3: Read & Write ↗

リード・ライト:ここで「読む力」と「書く力」を磨きます！



◆ アヤとメイはボブたちとの待ち合わせの駅で、ストリート・ミュージシャンを見かけました。

Aya: I often see that woman.

→ 私はよくあの(①)を見かけます。

She sings here every Saturday.

→ 彼女は毎週土曜日に(②)歌います。

Mei: She plays the guitar very well.

→ 彼女はギターをとても(③)ひきますね。

Is she popular?

→ 彼女は(④)なんですか？

Aya: I don't know, but her voice is beautiful.

→ 知りませんが、彼女の声は(⑤)です。

Mei: I think so, too.

→ 私も(⑥)思います。

動詞の後に"s"が付
いていることがポイント！

sings / plays



[STEP1] 例にならってペアで会話をしよう。

A : Do you know this man?



B : Yes, I know who he is. He is Nadal.

He is a comedian who won King of Conte 2015 last week.

A : Oh, did you see it? It was very fun, but I like Bambino the best.

A : Do you know this _____?

B : Yes, I know who (he / she) is.

(He / She) is _____.

(He / She) is a _____ who _____.

A : _____.

(1)



世界中でプレイするテニスプレイヤー

(2)



アフリカの多くの人々を救う科学者

(3)



「火花」という小説を書いた芸人

(4)



ニュートリノ振動を発見した東大教授
neutrino oscillations · professor

【STEP2】 文を完成させよう。

She is a singer. She lives in the U.S.

彼女は歌手です。

彼女はアメリカに住んでいます。

She is a singer who lives in the U.S.

彼女はアメリカに住んでいる歌手です。

(1) Taylor Swift is a singer. She is very famous in Japan.

Taylor Swift is a singer () is

(2) Doraemon is an anime character. He came from the future.

Doraemon is an anime character ()

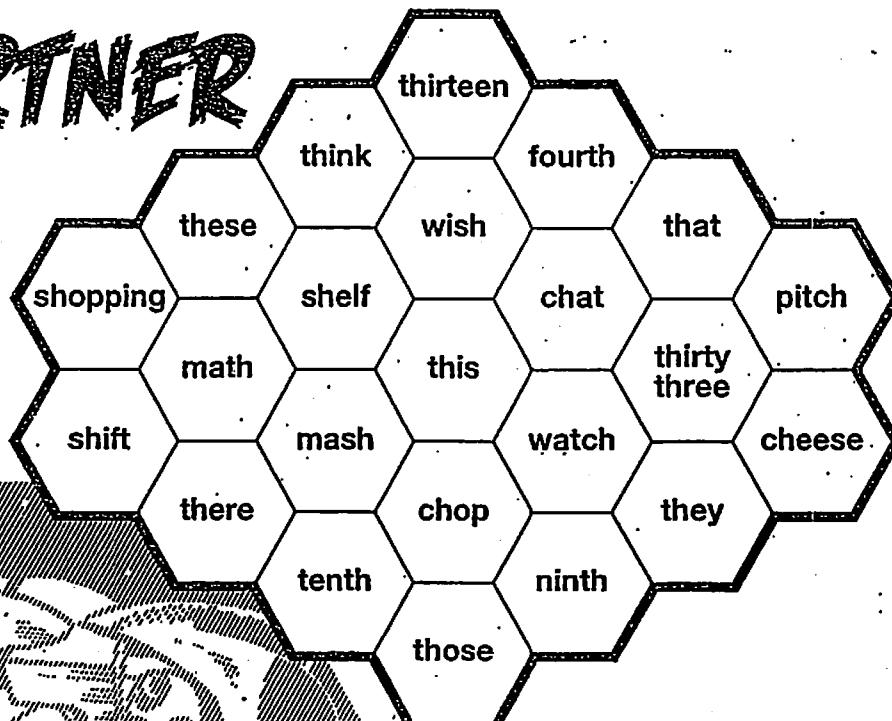
(3) Honda is a soccer player. He plays for AC Milan.

Honda is a () AC Milan.

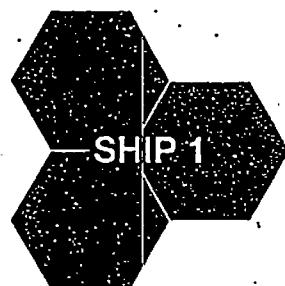
(4) Masaharu Fukuyama is an (). He got married last month.

(5) Chris is our English (). He is from

(6) The woman is beautiful. She teaches us English.

MY PARTNER**ME****BLACK HOLE**

*(lose a turn).

**"Miss!" "Hit!" "Ship down!"**

PROGRAM 2-1

(2- No. Name)

Be Going to tic-tac-toe!

No.1

go to school
play soccer
go shopping

I'm going to

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

You're going to

We're going to

No.2

study science
read a book
watch a movie

She is going to

He is going to

They are going to

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

No.3

go to Narita
play tennis
go swimming

Are you going to

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

Are they going to

Are we going to

No.4

study math
watch anime
listen to music

Is she going to

Is he going to

Are they going to

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

No.5

go to Tokyo
play the piano
go cycling

I'm not going to

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

You're not going to

We're not going to

No.6

study art
read manga
watch anime

She's not going to

He's not going to

They're not going to

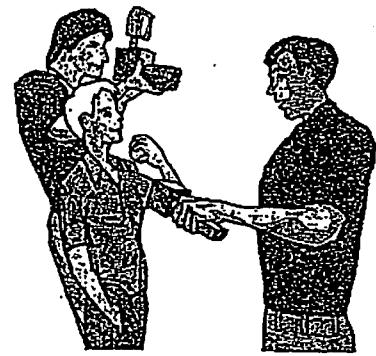
| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

資料9

Let's do an interview

My Project 7

Step 1: Find a pair.



Step 2: Choose a person you like to interview.

(a teacher, sports player, celebrity, anime character, friends, or anything)

Step 3: Write your interview script and practice.

Step 4: Presentation.

Example:

- ① What do you want to be in the future? I want to be a model.
- ② Why did you become interested in modeling? Because I like fashion and clothes.
- ③ What was your favorite sport when you were a child? I love table tennis.
- ④ How did you practice ~ to be a good ...? I practiced very hard every day to become a good soccer player.

Step 1: _____



Step 2: _____

Step 3: A: _____

B: _____

A: _____

B: _____

A: _____

B: _____

A: _____

B: _____

A: Hello everyone. Today we have Mr./Ms. _____

with us. How are you doing Mr./Ms. _____

B: _____

A: May I ask you some questions?

B: Sure.

A: _____

B: _____

A: _____

B: _____

A: _____

B: _____

A: _____

Thank you for you talking with us.

資料9

Let's do an interview



My Project 7

Evaluation Sheet

S=Excellent

A=Very good

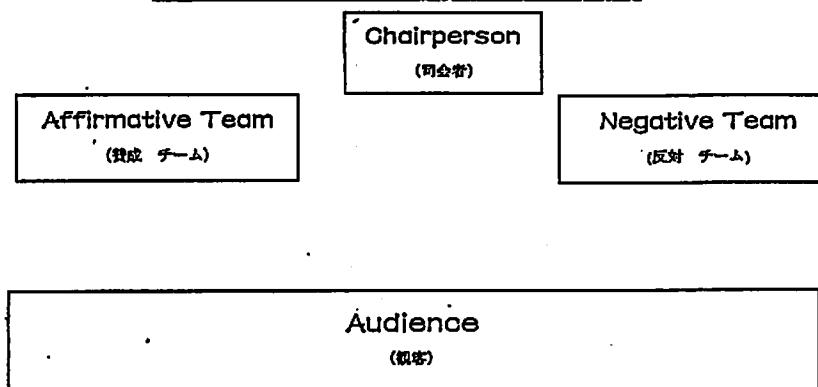
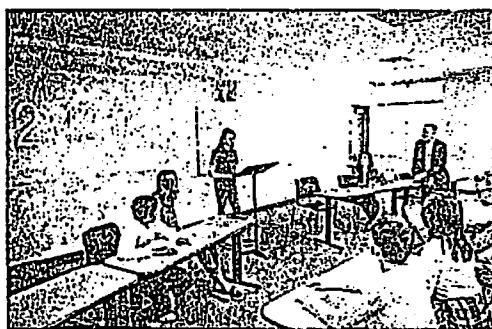
B=Good

C=Poor

| Names | Score | Comments |
|-------|-------|----------|
| ① | | |
| ② | | |
| ③ | | |
| ④ | | |
| ⑤ | | |
| ⑥ | | |
| ⑦ | | |
| ⑧ | | |
| ⑨ | | |
| ⑩ | | |
| ⑪ | | |
| ⑫ | | |
| ⑬ | | |
| ⑭ | | |
| ⑮ | | |
| ⑯ | | |
| ⑰ | | |

2018 English Debate

資料10



2. Are sports as important as studies?



4. Should homework be banned on holidays?



Homework
should be
banned.

3. Should technology replace text books?



Should computers replace teachers?

Name: _____ Class: _____ No. _____

資料10

Getting Ready to Debate

TOPIC

In my opinion _____

(私の意見にとって)

First, I think that _____

(まず、~~~と思います)

Secondly, I agree/ I disagree. Because _____

(一賛成します/一反対します。なぜなら.....)

The opponent may say that _____

(反対者がともいえます)

But _____

(が)

In summary _____

(手短いにいえば)

1.

Packed Lunch (持弁当)

Reason:

School lunch (給食)

Reason:

2.

School Trip in Japan (日本国内)

Reason:

School Trip Abroad (海外)

Reason:

3.

Uniform(制服)

Reason:

Casual Clothes(カジュアル)

Reason:

Worksheet

Sunshine 3 | Program 6-1 / Page 54-55

Let's Talk about Japanese Things.

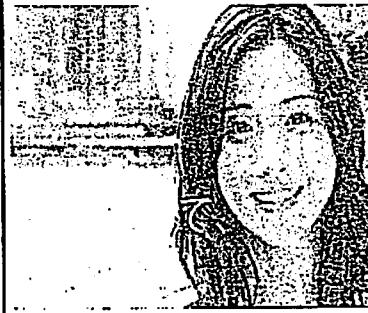
ターゲット英文法: 現在分詞の後置修飾

**CAN-DO**

<人についてくわしい観察ができる>

**Activity: Information Gap**

スピーキング: ここで「対話力」を磨きます!

woman / (Ariana)
singing on the stagegirl / ()
playing table tennisman / (Obama)
dancing with kidsman / ()
wearing a pink sweaterwoman / (Satomi)
speaking Englishman / ()
walking his dogsman / (Sanma)
talking a lotboy / ()
smiling happilywoman / (Matsuko)
making a funny faceman / ()
playing the violinman / (Kiryuu)
running so fastman / ()
wearing a wristband

Worksheet

Sunshine 3 Program 6-1 / Page 54-55

Let's Talk about Japanese Things.

ターゲット英文法: 現在分詞の後置修飾



★★★ CAN-DO ★★★

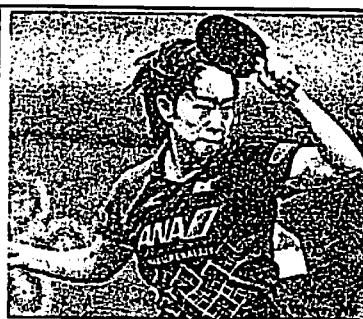
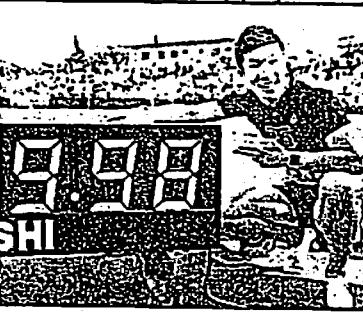


<人についてくわしい観察ができる>



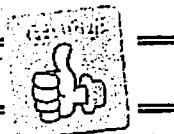
Activity: Information Gap

スピーキング: ここで「対話力」を磨きます!

woman / ()
singing on the stagegirl / (Kasumi)
playing table tennisman / ()
dancing with kidsman / (Kasuga)
wearing a pink sweaterwoman / ()
speaking Englishman / (Sakagami)
walking his dogsman / ()
talking a lotboy / (Fuku)
smiling happilywoman / ()
making a funny faceman / (Hakase)
playing the violinman / ()
running so fastman / (Ikegami)
wearing a wristband

Keep It Up! ☆ Vol. 1 ☆

～ "many homework(s)" はOK? ～



Tips:

- ① "homework(宿題)" は名詞
- ② 名詞とはモノ(人・もの・コト)を表す表現
- ③ 名詞には☆2種類☆

① 可算名詞(数えられる名詞)

② 不可算名詞(数えられない名詞)

- ④ 『たくさん』を表す表現例と役割

| | | |
|--------|------|---------|
| ① many | 数が多い | 可算名詞に使用 |
|--------|------|---------|

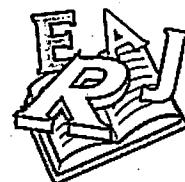
| | | |
|--------|------|----------|
| ② much | 量が多い | 不可算名詞に使用 |
|--------|------|----------|

| | | |
|------------|-------|---------------|
| ③ a lot of | 数量が多い | 可算・不可算名詞両方に使用 |
|------------|-------|---------------|

| | | |
|-----------|--|--|
| ④ lots of | | |
|-----------|--|--|

- ⑤ "homework(宿題)" は不可算名詞

★homeworkは「数」ではなく「量」!!



Answer:

✗ I have many homeworks to do.

○ I have much homework to do.

○ I have a lot of [lots of] homework to do.

★「数えられない名詞」に複数形の"s"は付けません。

★「数えられない名詞」に冠詞の"a"や"an"も付けません。

○ I have homework to do.

Example: 不可算名詞(数えられない名詞)ってどんな名詞?

water (水), wine (ワイン), gas (ガス), air (空気), rain (雨)

love (愛), housework (家事), money (お金), news (ニュース)

★他にもたくさんの不可算名詞が存在します!

Practice: 次のそれぞれの英文は、○か✗か、答えなさい。

How many money do you have?

I must help my mother with houseworks.

I have some water to drink.

We get a lot of rain here.



Comment:

(先生より)

上の説明を読んで、「英語って本当に複雑だな」。正直そう思いましたか? 外国の人と英語で話すとき、単数形とか複数形とか、可算とか不可算とか、正直ミスしてもコミュニケーション上は何も問題ありません。ネイティブの人たちはきちんと私たちが何を言いたいのか理解してくれますので安心して下さい。ただし、残念ながら高校入試のような「英語を書く試験」では細かいミスも許してくれません。なので、しっかりこの英語の構造を理解しておきましょう。私たち英語科の先生は全力でみなさんをサポートしますので、遠慮なくわからないことは質問するなど、頼ってくださいね☆ Keep it up!! :)